



空き家対策の推進を目指して 空き家などに関する連携協定調印式

松前町は2月6日、空き家などの発生のも未然防止、管理の適正化、流通・活用などに関する対策を推進するため、下記の団体と連携協定を締結しました。

役場で調印式があり、田中町長は、「町が把握した情報を共有して、空き家などを活用していきたい」と話していました。

【空き家等に関する協定】

一般社団法人全国古民家再生協会、一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会愛媛県松前支部

【空き家等対策の推進に関する連携協定】

公益社団法人愛媛県宅地建物取引業協会、公益社団法人愛媛県宅地建物取引業協会伊予地区連絡協議会

空き家等に関する連携協定調印式



(写真左から) (一社)全国空き家アドバイザー協議会愛媛県松前支部井上幸一支部長、田中町長、(一社)全国古民家再生協会河野公宏事務局長

空き家等に関する連携協定調印式



(写真左から) (公社)愛媛県宅地建物取引業協会伊予地区連絡協議会林志郎地区代表、田中町長、(公社)愛媛県宅地建物取引業協会姉川誠会長



中小企業の振興を推進するため

松前町中小企業振興計画策定

2月13日に松前町中小企業振興審議会から答申を受け、町は、「松前町中小企業振興計画」を策定しました。

この計画は、令和7年度から11年度までの5年間の計画で、展開する施策の方向性や内容、目標値などを定めるほか、計画の位置付けや推進体制を明らかにしています。

町は、この計画に基づき、町内中小企業の振興を総合的かつ計画的に推進していきます。

※「松前町中小企業振興計画」は、町ホームページ(右のQRコード)で確認できます。



持続可能なまちづくりを推進

第5次松前町総合計画基本計画見直し

田中町長は2月18日、松前町総合計画審議会に諮問していた「第5次松前町総合計画基本計画見直し」に関する答申を受けました。

「総合計画」とは、まちの特性を活かしたまちづくりの目標や将来像を定めた、行政運営の基本となる計画です。

この答申を受け、町は基本計画の見直し手続きを進め、持続可能なまちづくりを進めていきます。



地域社会の発展を目指して

損害保険ジャパン株式会社との包括連携協定

松前町と損害保険ジャパン株式会社(竹川和宏愛媛支店長)は2月5日、「包括連携協定」を締結しました。

この協定は、相互の連携および協力を強化し、松前町の地方創生に寄与することを目的として締結されたものです。

今後は、地域振興と安全・安心なまちづくりのために互いに連携していきます。



元気が出るまちづくりを目指して

松前町公民館研究大会・生涯学習推進大会

「第46回松前町公民館研究大会・令和6年度松前町生涯学習推進大会」は2月2日、文化センターで開かれ、約200人の参加者が公民館活動の充実のため理解を深めました。

実践発表では、元気が出るまちづくりについて2分館が事例を発表しました。鶴吉分館は、「大好きです鶴吉!!」と題して活動事例を報告。向井務分館主事は、「より多くの皆さんが活動に参加できるよう住民の協働意欲を醸成するなどして、安全で住み良い地域づくりをしたい」と話していました。北川原分館は、「北川原はこんな町です、がんばっています。」と題して活動事例を報告。西野裕一分館主事は、「経験豊かなお年寄り子どもたちの交流の場を設けるなどして、『元気が出る町、北川原』をつくり上げていきたい」と話していました。

基調講演では、八幡浜市立神山地区公民館の木下恵介館長が「子どものアソビ場サードプレイスづくりを目指して」と題して、八幡浜市の地域活動交流拠点施設「あすもわ」での取り組みを紹介しました。最後は、愛媛大学地域協働推進機構の前田真客員教授をコーディネーターに迎え、パネルディスカッションを行い、活力ある住み良いまちづくりについて考えました。



産業振興に役立てて

株式会社濱崎組 企業版ふるさと納税による寄付

株式会社濱崎組(濱崎増司代表取締役)は2月7日、企業版ふるさと納税制度により町に200万円を寄付しました。

目録を受け取った田中町長は、「町のために有効に使わせていただきます」と感謝状を贈りました。

この寄付金は、産業振興、産業連携による活発で活力あるまちづくりのために使われます。



②パネルディスカッションの様子
⑤左から、向井分館主事、西野分館主事

公民館活動特別功労者表彰・功労者表彰受賞者(敬称略)

▶特別功労者表彰(分館役員20年以上) 今井公昭、重川源、香出克己、永井仁

▶功労者表彰(分館役員5年以上) 宮田和平、西村達哉、高市真一、黒田利彦、和田之宏、重川弘子、大西明彦



松前のいいところを探そう

松前町観光協会「まさきドリームチャレンジ」

子どもたちの意見をまちづくりに生かすため、松前町観光協会主催の「まさきドリームチャレンジ」は2月9日、文化センターで行われました。

親子連れなど約20人が参加し、まちの魅力を洗い出すため、まちの好きなところやほしいものを付箋に書いて発表。松前町の特産品を集めた「特産品祭り」の開催や、海上レストランの設置など多くの新しいアイデアが生まれました。

- ④まちの魅力を付箋に書く
- ⑦意見を発表



恵方巻きで親睦を深める

松前校区婦人会「恵方巻き作り」

松前校区婦人会は2月3日、西公民館で恵方巻きを作りました。

昨年に引き続き2回目となる今回は、約30人が参加。昨年と味付けを変更し、合わせ酢にエソのすり身を入れ、ほんのり魚の風味が香る恵方巻きが完成しました。

会長の鳥越英子さんは「みんなで楽しく作れて良かった。皆さんもぜひ婦人会に入っ一緒に活動してほしい」と話していました。

- ④アツアツのご飯で酢飯を作る
- ⑤色とりどりの具材を入れて巻く



国内トップレベルのホッケーを学ぶ

南都銀行 SHOOTING STARS によるホッケー教室

「令和6年度松前町ホッケーイベント」は1月25日、松前町国体記念ホッケー公園で開催され、小中学生など約150人が参加しました。

今回のイベントは、ホッケー女子日本代表「さくらジャパン」で活躍する国内トップレベルの選手が所属する「南都銀行 SHOOTING STARS」によるホッケー教室を実施。参加者は、選手の指導を受け、ホッケーの楽しさを体感していました。

- ④楽しくウォーミングアップ
- ⑤選手から分かりやすくアドバイス



力を合わせて鬼退治

白鶴保育所「豆まき」

2月3日、白鶴保育所で豆まきが行われました。園児は、集会で節分の由来のお話を聞いた後、園庭に出て鬼退治。鬼に向かって、「鬼は外ー！福は内ー！」と新聞紙を丸めて作った玉を思い切り投げていました。

当日の給食は、おなじみの「鬼面ライス」。ちくわ、イチゴやブロッコリーなどで鬼の顔を作り、楽しくみんなで食べました。

- ④みんなで食べるとおいしいね
- ⑤力いっぱい豆まき



息の合ったペアプレーで白熱

第44回松前町バドミントン大会

「第44回松前町バドミントン大会」は1月26日、松前小学校で開催されました。大会結果は次の通り（敬称略）。

▶一般男子

- ①加藤亮彦・松本 大
- ②和田悠介・ト部雄多

▶一般女子1部

- ①乗松しのぶ・泉 晶子
- ②加藤宏野・河崎由美子

▶一般女子2部

- ①山地佳乃・頼本和奈
- ②門松祐希・村上樹里奈



高校生がまちの魅力を発信

伊予高等学校「まさきをギュギュッとフェスタ」

伊予高等学校の生徒22人は2月15日、町内の古民家で「まさきをギュギュッとフェスタ」を行いました。

このイベントは、特産品「珍味」の知名度アップなどを目標に、まちの魅力を広めようで行われたもの。

来場者は、高校生と一緒に珍味を生地に練り込んだパンを作ったり、珍味を使ったクッキーやおにぎりなどを食べたりして、まちの新たな魅力を発見していました。



安全・安心のまちづくりに役立てて

防災・防犯関連物品の寄贈

四国電力株式会社は1月30日、安全・安心のまちづくりに役立ててほしいと寝袋、センサーライト、モバイルバッテリーを町に寄贈しました。

いただいたご厚意は、大切に活用させていただきます。ありがとうございました。



技を競って

第47回松前町スポーツ協会空手道演武会

「第47回松前町スポーツ協会空手道演武会」は12月1日、松前町国体記念ホッケー公園体育館で開催されました。結果は次の通りです（敬称略）。

形競技▶1部 ①福島聡一郎②濱田雪斗③濱田琢斗

▶2部 ①喜安 巧②林 洋輝

組手▶防具付組手 ①林 洋輝②喜安 巧

連盟ルール ①喜安 巧②林 洋輝

組手エキシビジョンマッチ ①福島聡一郎



憧れのお仕事を体験

松前幼稚園「お店屋さんごっこ」

松前幼稚園の「お店屋さんごっこ」は2月6日、同園で開かれ、園児や保護者など約80人が参加しました。

園児たちは、保護者と一緒にお花屋さんや病院など7軒のお店屋さんを開店。店員になって商品を販売したり、お客さんになって買い物をしたりして楽しみました。どのお店からも「いらっしゃいませ!」「ありがとうございました!」と、元気いっぱいの声が響いていました。